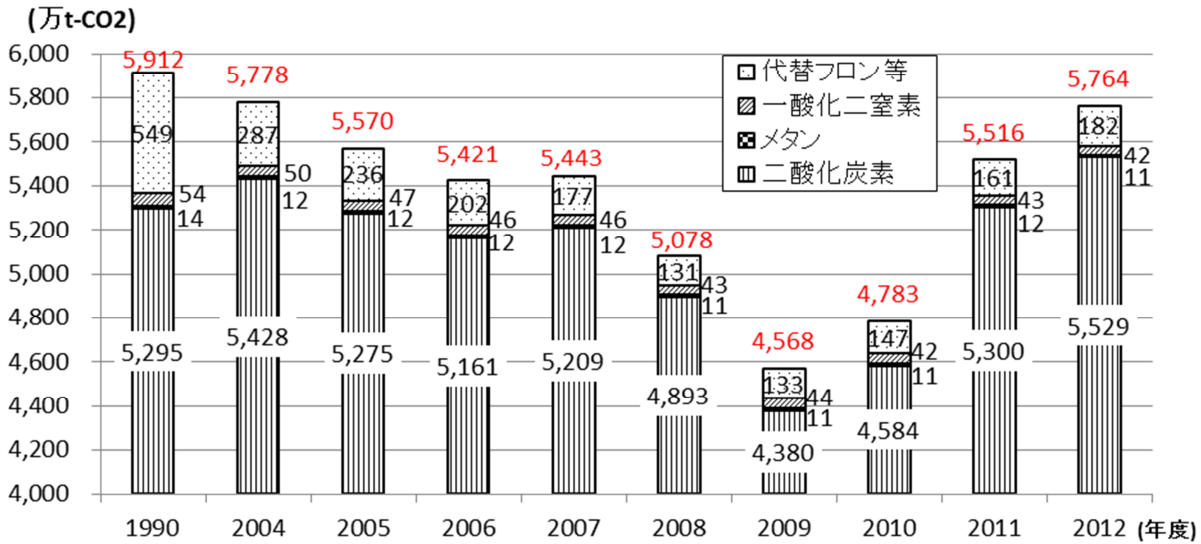


序章 おおさかの環境の状況

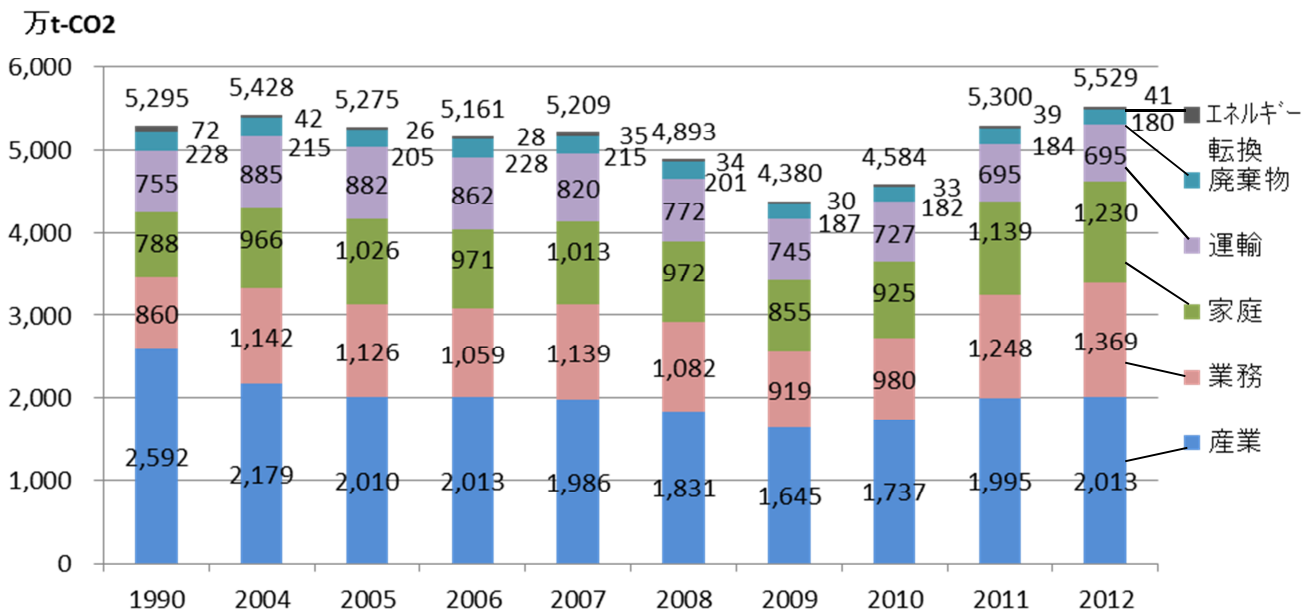
1 低炭素・省エネルギー関係

○温室効果ガスの排出量については、2012年度は5,764万トンであり、2011年度と比べ4.5%増加していますが、基準年度（1990年度）の5,912万トンと比べ、2.5%減少しています。



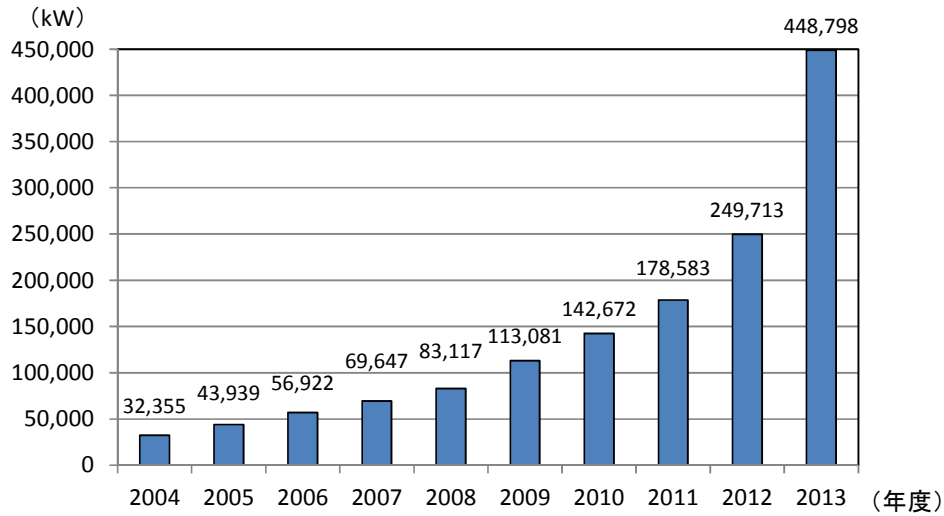
府内における温室効果ガス排出量の推移

○二酸化炭素の排出量については、2012年度は5,529万トンであり、基準年度（1990年度）の5,295万トンと比べ、4.4%増加しています。基準年度と比較すると、産業部門や運輸部門、エネルギー転換部門は減少していますが、民生（業務）及び民生（家庭）部門は増加しています。



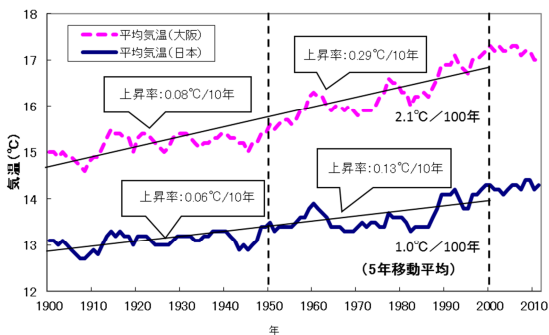
府内における二酸化炭素排出量の推移

○太陽光発電設備の導入状況については、2013年度は448,798kWであり、2012年度の249,713kWと比較し、79.7%増加しています。

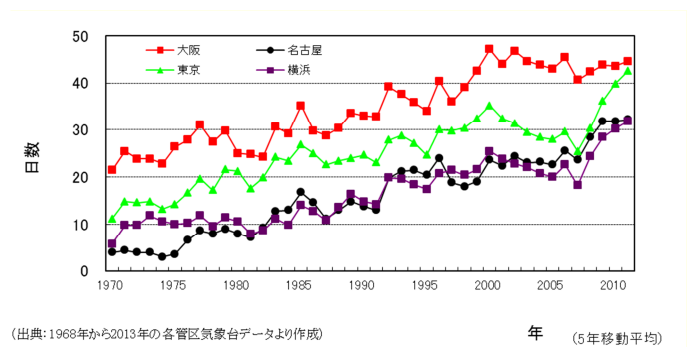


府内における太陽光発電設備の導入状況の推移

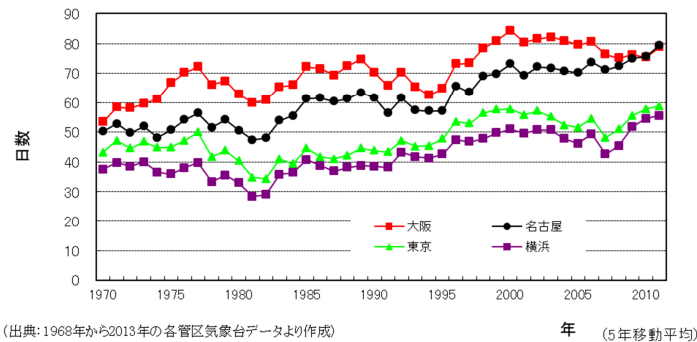
○年平均気温は、全国の年平均気温を上回る状況で推移しています。熱帯夜数は、大阪府ヒートアイランド対策推進計画で基準年としている2000年と比べ、3日減少しています。真夏日数については、近年80日前後で推移しています。



大阪・全国における年平均気温の推移



大都市における熱帯夜数

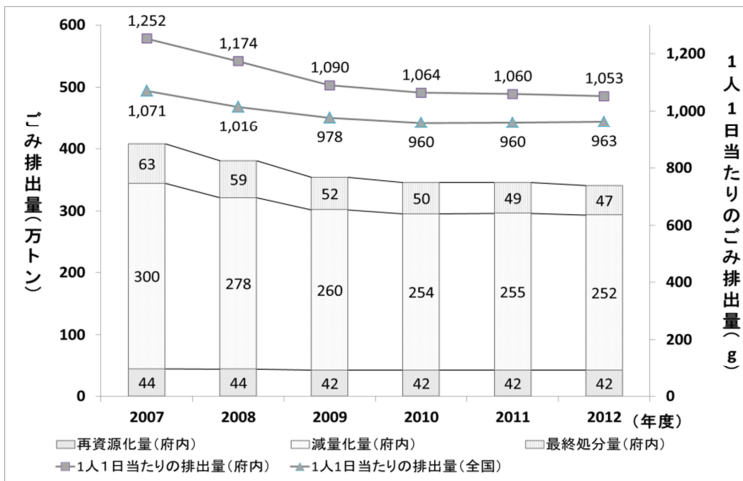


大都市における真夏日数

2 循環型社会関係

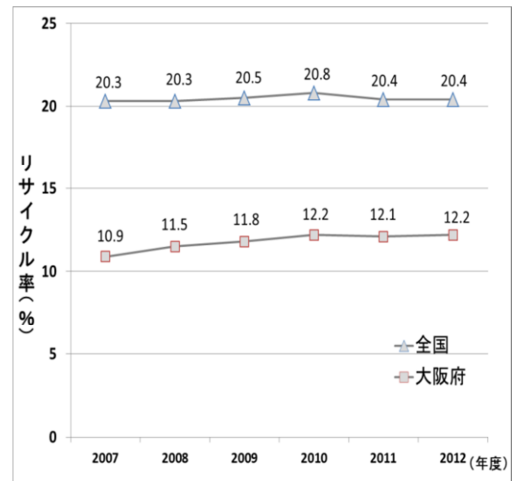
○府内における1人1日当たりのごみ排出量は全国平均を上回っていますが、2007年度から2012年度にかけて16%減と全国を上回るペースで減少しています。

○2012年度の府内のリサイクル率は全国平均より低いですが、2007年度と比べ1.3ポイント上昇しています。



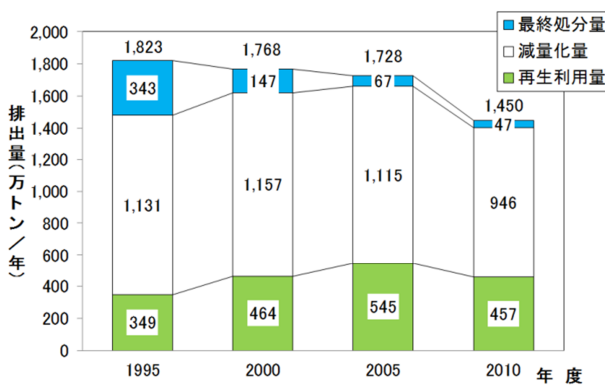
※1人1日当たりの排出量は外国人を含む人口を元に算出

一般廃棄物排出量の推移



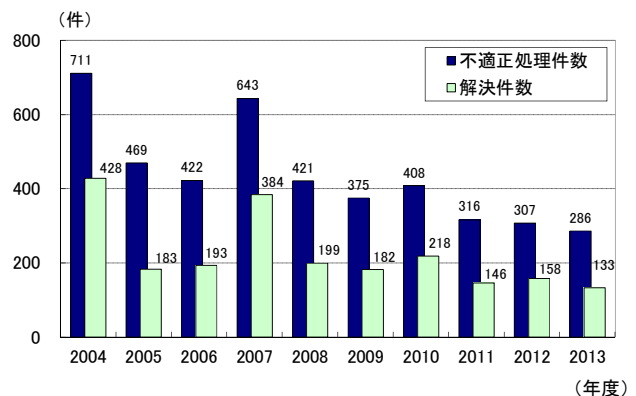
リサイクル率の推移

○産業廃棄物については、2010年度の最終処分量は47万トンであり、2005年度と比べ30%減少しています。また、不法投棄などの不適正処理の件数は減少傾向にありますが、依然として多発しています。



産業廃棄物の最終処分量等の推移

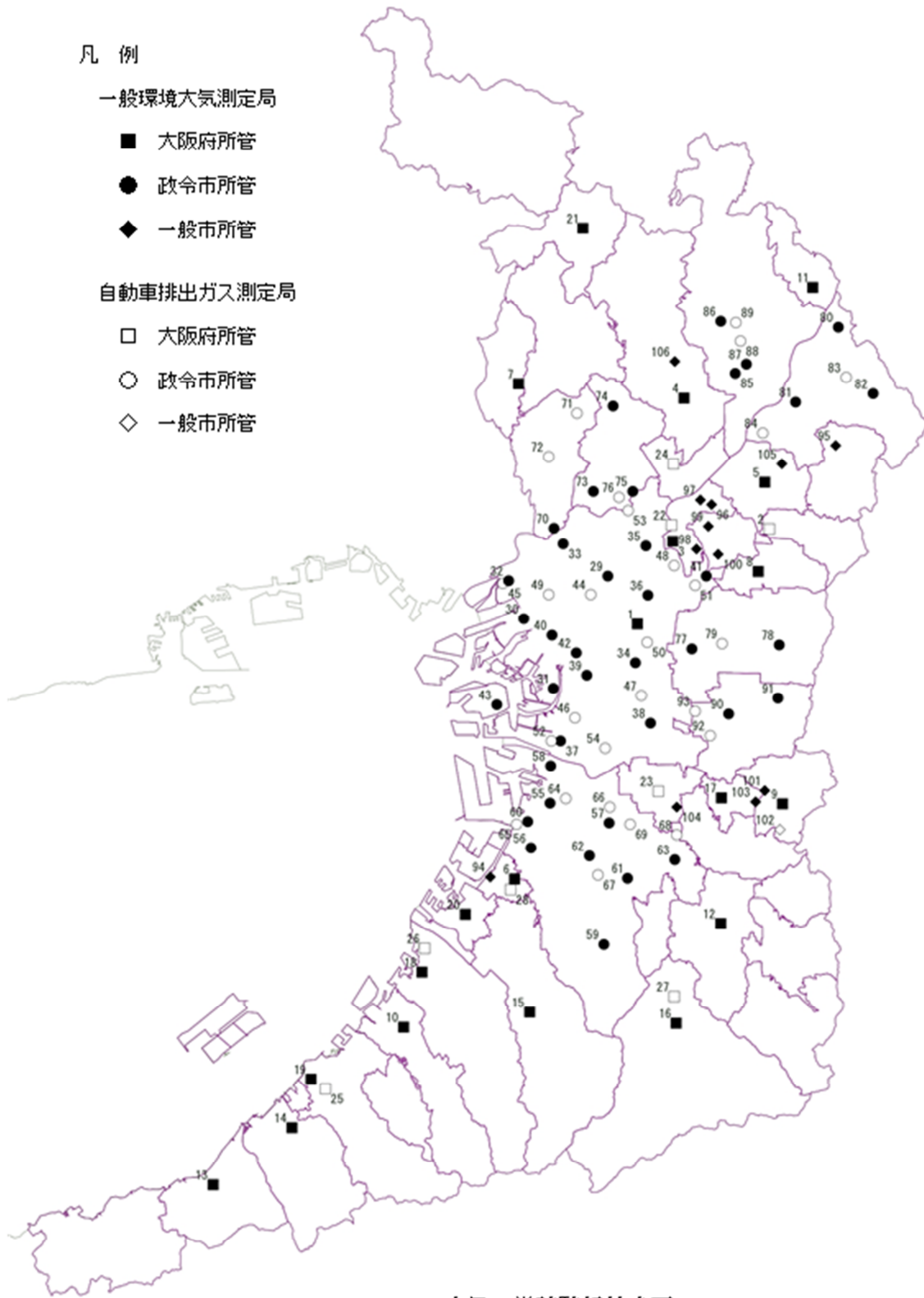
注) 四捨五入しているため、合計が合わない場合がある。



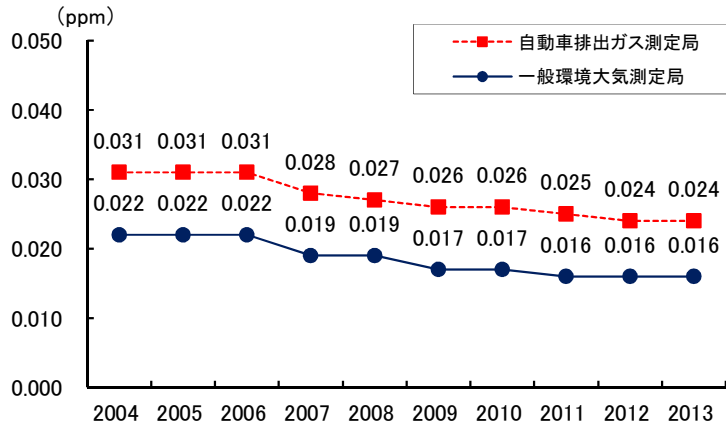
産業廃棄物の不適正処理件数

3 大気環境関係

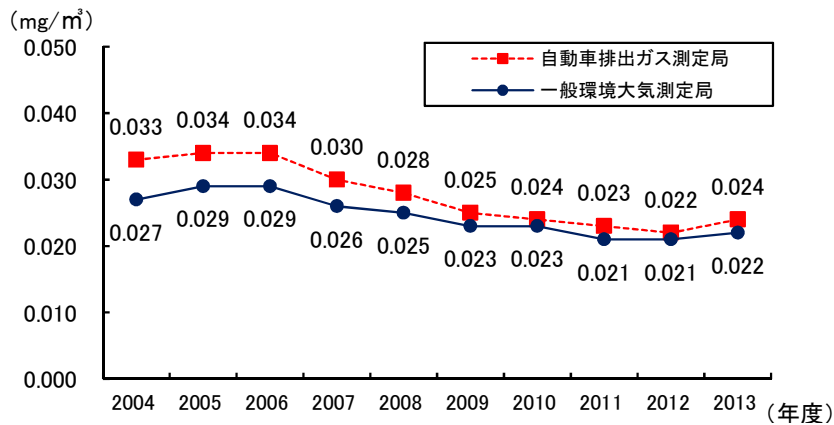
一般環境大気測定局 70 局、自動車排出ガス測定局 36 局で大気調査を行いました。



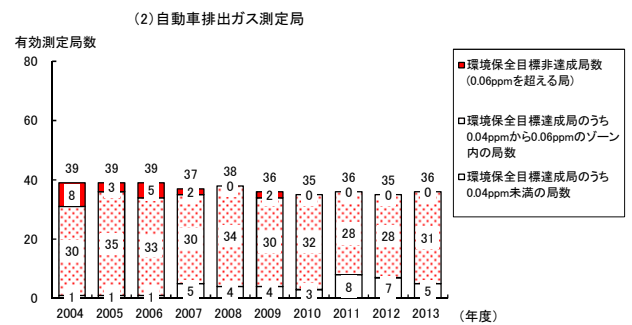
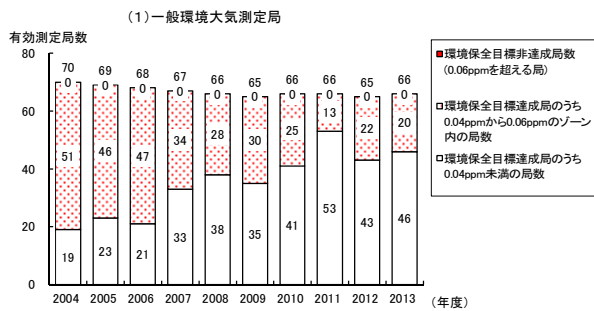
○二酸化窒素と浮遊粒子状物質の濃度については、長期的には改善傾向で推移しています。2013年度は、二酸化窒素は環境保全目標を102局全局で達成し、浮遊粒子状物質は101局中99局で目標を達成しました。



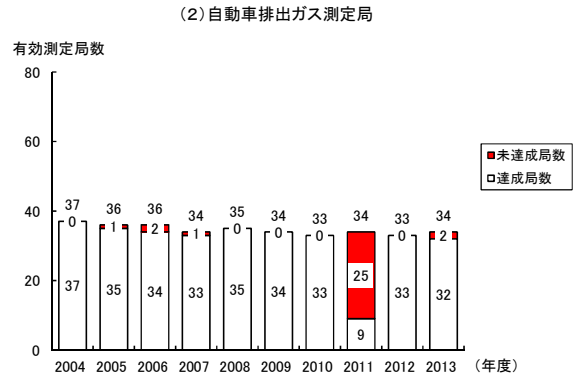
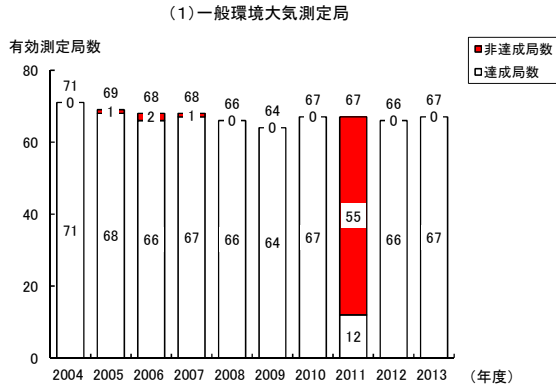
二酸化窒素濃度 (年平均値) の推移



浮遊粒子状物質濃度 (年平均値) の推移



二酸化窒素の環境保全目標達成局数の推移

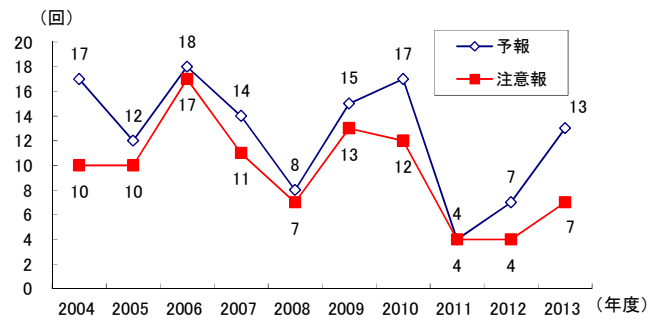


浮遊粒子状物質の環境保全目標達成局数の推移

○光化学オキシダントについては、2013年度は、70局全局で環境保全目標を達成しませんでした。

光化学オキシダントの要因物質である非メタン炭化水素の年平均濃度については、緩やかな改善傾向で推移しています。

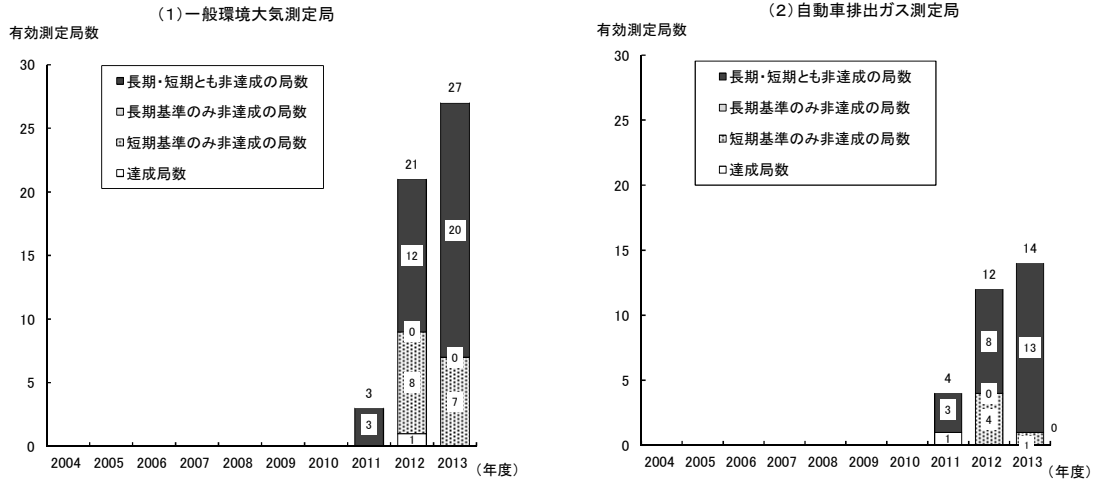
光化学スモッグ注意報の発令回数は、年度による変動が大きく、増減を繰り返しています。



光化学スモッグ発令回数の推移

○微小粒子状物質（PM2.5）は、2013年度は41局全局で環境保全目標を達成しませんでした。

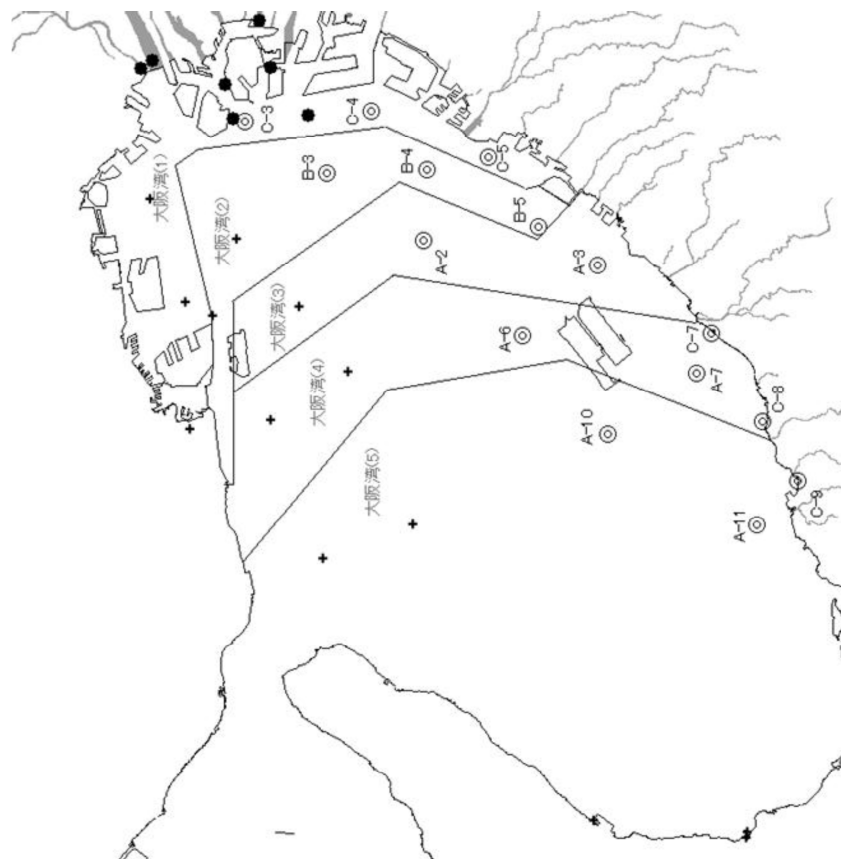
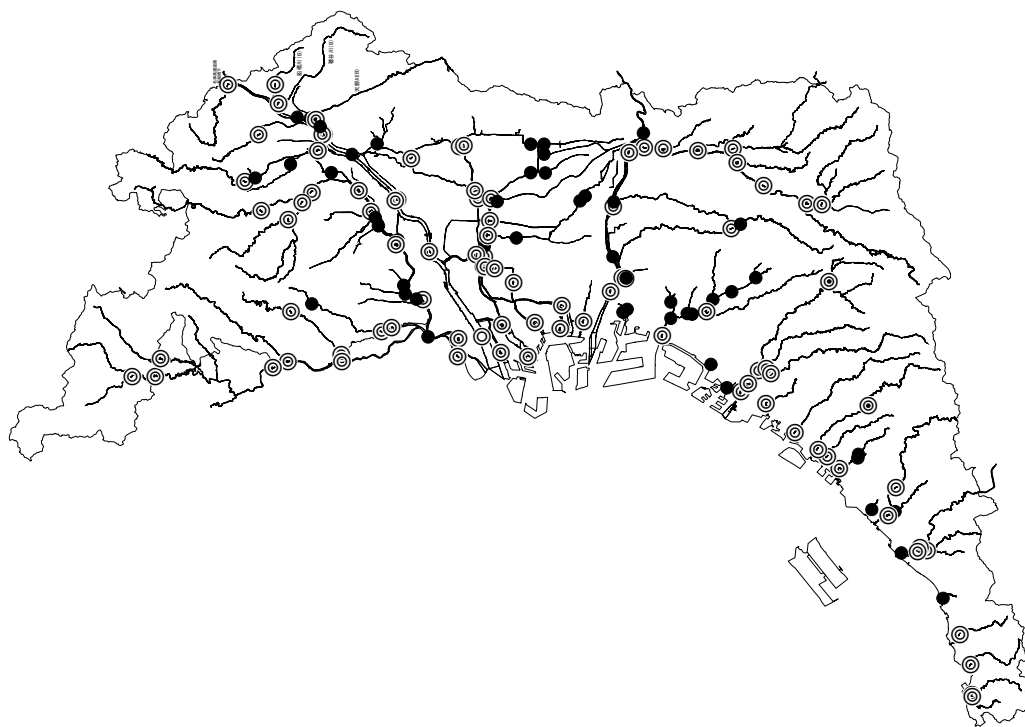
年平均濃度については、本格的に測定を始めた2011年度からの3年間は概ね横ばいですが、環境省の測定機認定制度ができる以前の機種による1999年度からの測定結果では、長期的には緩やかな改善傾向となっています。



PM2.5の環境保全目標達成状況

4 水環境関係

河川については 105 河川 144 地点、海域については 22 地点で水質調査を行いました。

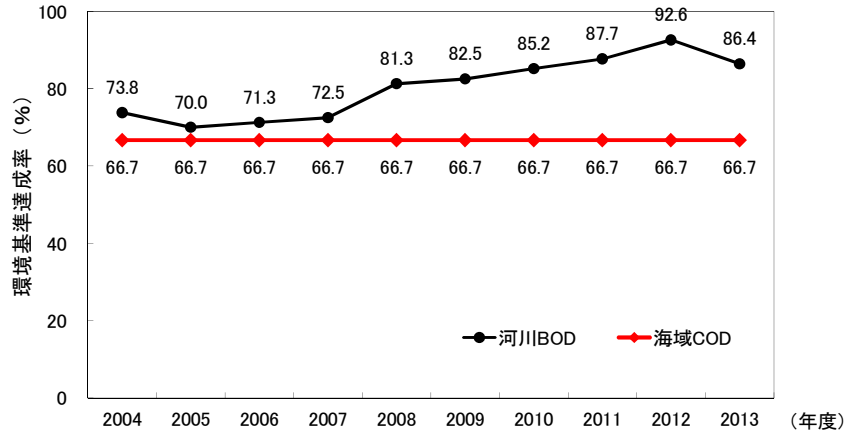


河川及び海域の常時監視地点図

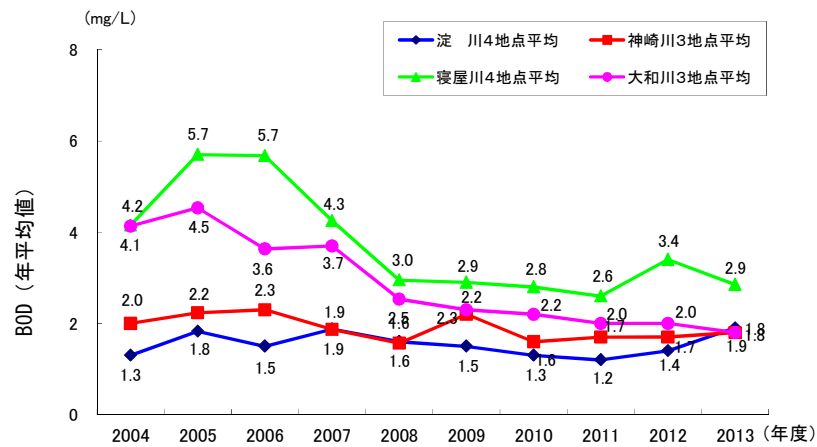
◎：環境基準点 ●：準基準点
※ただし、+は兵庫県の環境基準点 (COD)

○河川の水質は概ね改善傾向にあり、2013 年度における BOD の環境保全目標達成状況については 86.4%となりましたが、海域の水質については横ばいの傾向であり、2013 年度における COD の環境保全目標達成状況については 66.7%※でした。

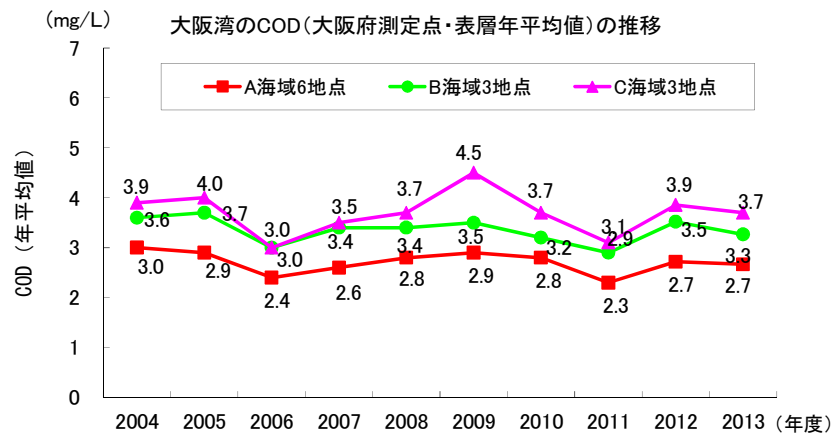
※兵庫県の測定地点を含め水域ごとに評価



河川の BOD 及び海域の COD の環境保全目標達成率の推移



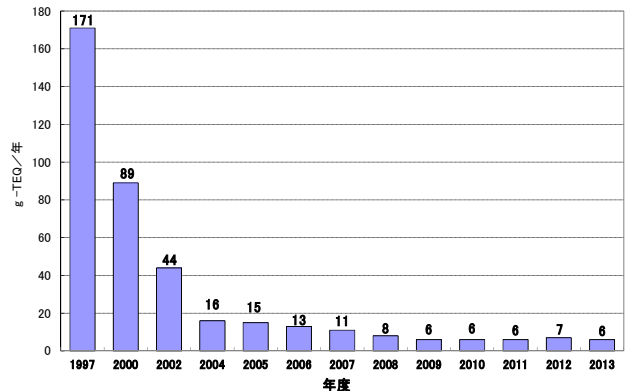
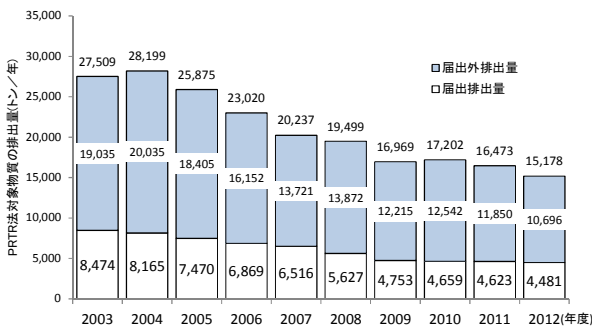
府内主要河川の BOD (年平均値) の推移



大阪湾の COD (表層年平均値) の推移

5 化学物質関係

○環境中への化学物質の排出量は減少傾向にあり、ダイオキシン類の排出量は、大きく減少した後、近年は横ばいに推移しています。



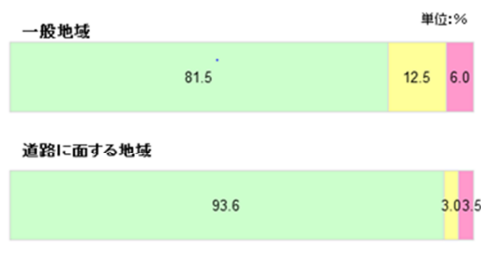
府内における化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法) 対象物質の排出量の推移

(※2010年度から届出対象物質数が354から462に変更されました)

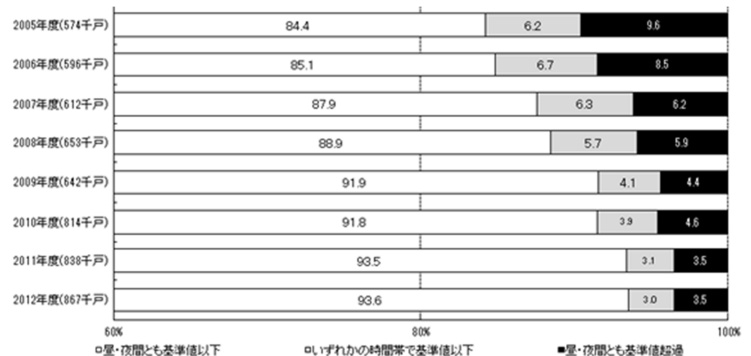
府内でのダイオキシン類の排出量の推移

6 騒音関係

○道路沿道における騒音に係る環境保全目標の達成率は改善傾向にあり、2012年度は昼・夜間ともに基準値以下の住居等の割合は93.6%でした。



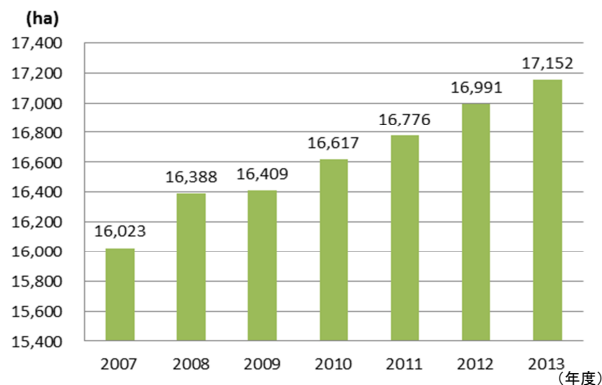
騒音に係る環境保全目標達成状況



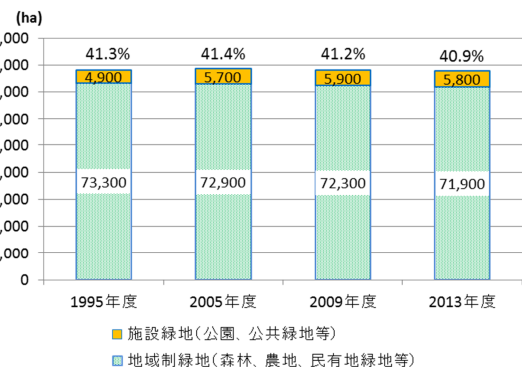
道路に面する地域に係る環境保全目標達成率の推移

7 自然環境

○保安林については、新たに161ha指定しました。緑地面積は、府域の約4割を維持しています。



府域の保安林の指定面積の推移



府域の緑地面積の推移

8 立入検査等実施件数

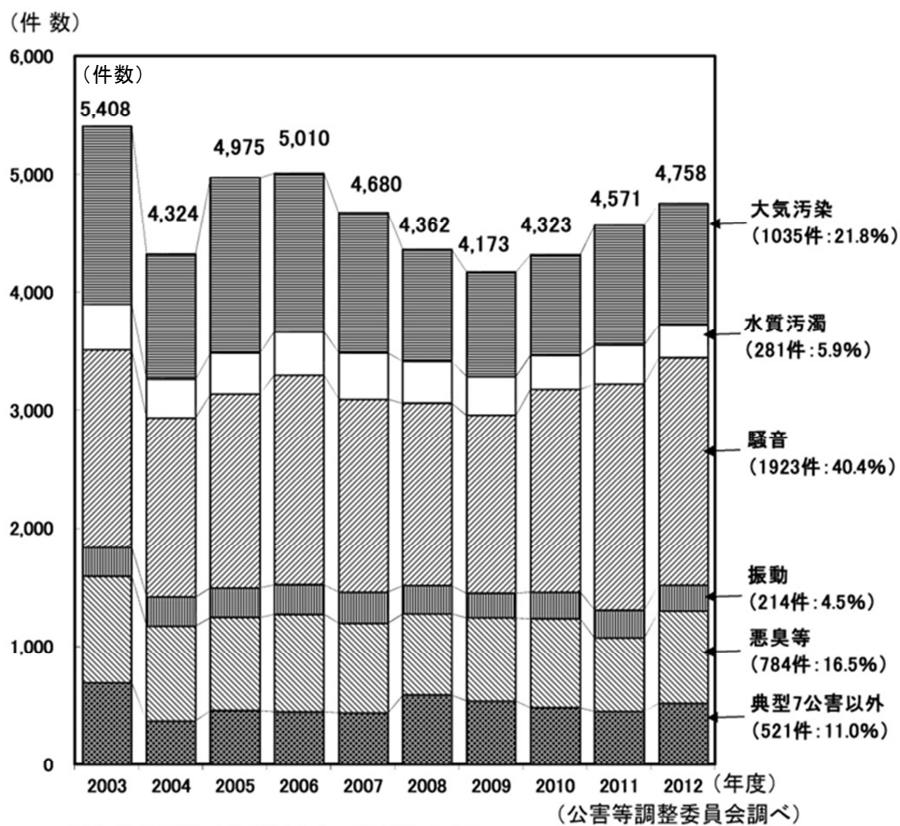
○2013年度の法令等に基づき府が実施した立入検査・指導等の件数は以下のとおりです。

大気（法規制事業所：751 条例規制事業所：823）		
一般大気	事業所への立入り件数	1,054 件
	法・条例対象施設に係る届出件数	476 件
	サンプル採取・分析件数	25 件
アスベスト	解体現場への立入り件数	566 件
	アスベストに係る届出件数	140 件
	サンプル採取・分析件数	110 件
水質（法規制事業所：1,051 条例規制事業所：69）		
	工場・事業場への立入り件数	864 件
	法・条例対象施設に係る届出件数	360 件
	サンプル採取・分析件数	358 件
交通環境		
	流入車規制のステッカー交付枚数	79,945 枚 累計 1,201,705 枚
	立入検査回数及び立入検査台数	111 回 6,264 台
土壌汚染		
	法・条例・自主調査指針に基づく調査報告件数	14 件
	土地の形質変更届出件数	55 件
化学物質		
	法・条例に基づく排出量等の届出件数	868 件
	条例に基づく管理計画及び管理目標の届出件数	194 件
廃棄物・リサイクル		
一般廃棄物	一般廃棄物処理施設への立入検査件数	31 件
	サンプル採取・分析件数（※）	42 件
産業廃棄物	産業廃棄物排出事業者等に対する立入検査件数	1,633 件
	産業廃棄物排出事業者からの報告徴収件数	16,045 件
	産業廃棄物処理業者等に対する立入検査件数	690 件
	サンプル採取・分析件数	90 件
	自動車リサイクル法に基づく登録・許可業者への立入検査件数	329 件
	フロン回収・破壊法に基づく登録業者への立入検査件数	31 件

※ 1件の立入検査で複数種類のサンプルを採取している場合があるため、立入検査件数と一致しない。

9 その他

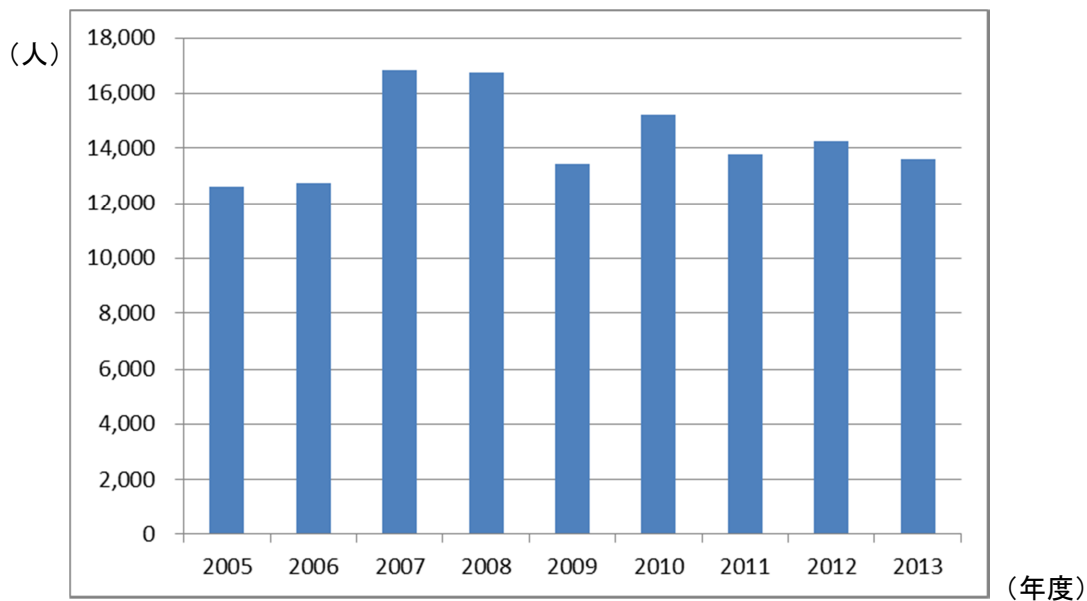
○2012 年度に受け付けた苦情件数については、前年度に比べて 4.1%増加し、最も多い苦情は騒音に関するもので苦情全体の 40.4%を占めています。



(注) 苦情件数は他機関からの移送分を含む。

苦情件数の推移

○環境情報プラザの利用者数は、近年は横ばいで推移しています



環境情報プラザの利用者数の推移